

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ナガト 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町月見町9番9号

(3) 業種

金属熱処理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：稼働時間(1000時間)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO2	73.48	69.81 -5.0	53.13 27.7	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2	該当なし						
メタン	該当なし						
一酸化二窒素	0.0958	0.0934 -2.5	0.0731 23.70	100.0	100.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス	該当なし						
温室効果ガス 排出量総計	73.58	69.90 -5.0	53.20 27.7	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 k)	28.84	27.40 -5.0	22.87 20.7	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	炉の燃焼効率改善により昇温時間の短縮を行い、エネルギー消費を抑えることができた。また、蛍光灯のLED化を行い、総合的に温室効果ガスを削減できた。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	下記(その他の取組み) を含めて 2013年度比：27.7% 削減	フォークリフトの更新⇒エンジン車からバッテリー車へ更新
2	電気使用量の削減		事務所等空調電力量低減⇒不要・不在時の運転停止と設定温度の省エネ(夏季：28℃、冬季：19℃)。 検査室省エネエアコン更新⇒省エネタイプのエアコンへ更新 事務所等照明電力量低減⇒不要・不在時の消灯の徹底。 事務所等OA機器電力量低減⇒不要・待機電力のムダ排除
3	一酸化二窒素排出量の削減		炉の燃焼ロス削減⇒排ガス酸素濃度測定による燃焼調整の実施 稼働率の見直し⇒空炉時間の削減、操業形態の見直し
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組 (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1	(導入予定なし)	
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	環境づくり、意識付け	上に同じ	環境会議を実施(毎月)。
2	洗浄機再生槽改造		再生能力増強による廃液量の削減

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。